



# さくらっこ!



戸塚区青少年指導員協議会は 戸塚区青指 検索

## 目次

P.1…子どもにルールを理解させるには / P.2・3…エリアズームアップ! —各地区の活動紹介— 第3回  
P.4…チャレンジギネス!・2019年度 終了した行事・2019年度 今後の行事予定

No.18

## 子育てワンポイント!

### 子どもにルールを理解させるには

例えば「見通しの良い片側1車線の道路、横断歩道は25mほど先、近付く車はあるが渡れそう」…あなたは横断歩道まで行かずにここで渡りますか? それともルールを守って渡りませんか? 子どもと一緒にどうしますか?

#### 1. 子育てのルール

子育ての目的は「身体的自立、経済的自立、精神的自律」です。そのために親としては様々なルールを考えます。

「トイレに行きたくなったら言うのよ」「オモチャはちゃんと片付けなさい」「順番は守りなさい」「テレビゲームやスマホは1時間まで」「寄り道しないで帰ってきなさい」「12時までには寝なさい」「お金の貸し借りはしないこと」「辛いことがあったら話してね」など。



#### 2. ルールの目的

何のためにそのルールがあるのか。なぜそのルールを守らなくてはならないのか。その理由を子どもが理解していなければ、「子どもはルールを守らず、親は叱る」が繰り返されます。

ただ、子どもの年齢によっては目的が理解できない時期もあります。幼少期～小学校低学年は「守らないと〇〇になれないよ」「××が襲いに来るよ」など希望や恐怖での対応も必要でしょう。

しかし、目的が理解できる年齢になったら「〇〇ができるように」「××になると困るから」と目的を明確にして、そのためにどうすれば良いかを子どもと話し合い、お互いが納得したルールを決めましょう。

#### 3. ルールの変更

我慢してルールに従うことも精神的自律につながりますが、一緒に決めたルールだからと言ってそれが守られるとは限りません。ルール違反として罰を決めておくことも大切です。何度もルール違反が繰り返されるようであれば「何が守れない理由なのか」を話し合う機会が必要です。親には分からない、大人には想像できない子どもなりの理由があったのかも知れません。また、その子どもの成長に合わせてルールを見直し、変える必要もあります。

「見通しの良い片側1車線の道路、横断歩道は25mほど先、近付く車はあるが渡れそう」  
急がないと生活に危機を及ぼすような緊急事態にあり、かつ安全に渡れる運動能力と判断力のある子どもとなら渡る… どう思いますか?

「大人は化粧しているのになぜ高校生はダメなの」「自分で貯めたお小遣いだから何を買ってもいいじゃない」「学校にはどうしても行かなくてはならない」「人に迷惑かけてないなら好きなことやってもいいじゃない」… 一見、子どものわがままのようにも思えますが、親として大人として、これらのルールの目的や理由に明確な回答ができるでしょうか。子どもと一緒に考えてみてください。

大人もそのルールが何を目的に作られたのかを再確認する必要があります。より良い生活のために、子どもの自立のために必要かどうかという観点から、守るべきものは守る、変えるものは変える、必要なら新たに作る、その姿勢こそが子どもたちにルールの目的と大切さを教えることにつながるのではないのでしょうか。

